県民だより
ひょうご
3月号
平成25年

目次

1-3面 県政特集
世界に羽ばたけ!
ひょうごの農・畜・林・水

4・5面
●元気コラム
農業県兵庫
兵庫県知事 井戸敏三

●食彩ひょうご
のり

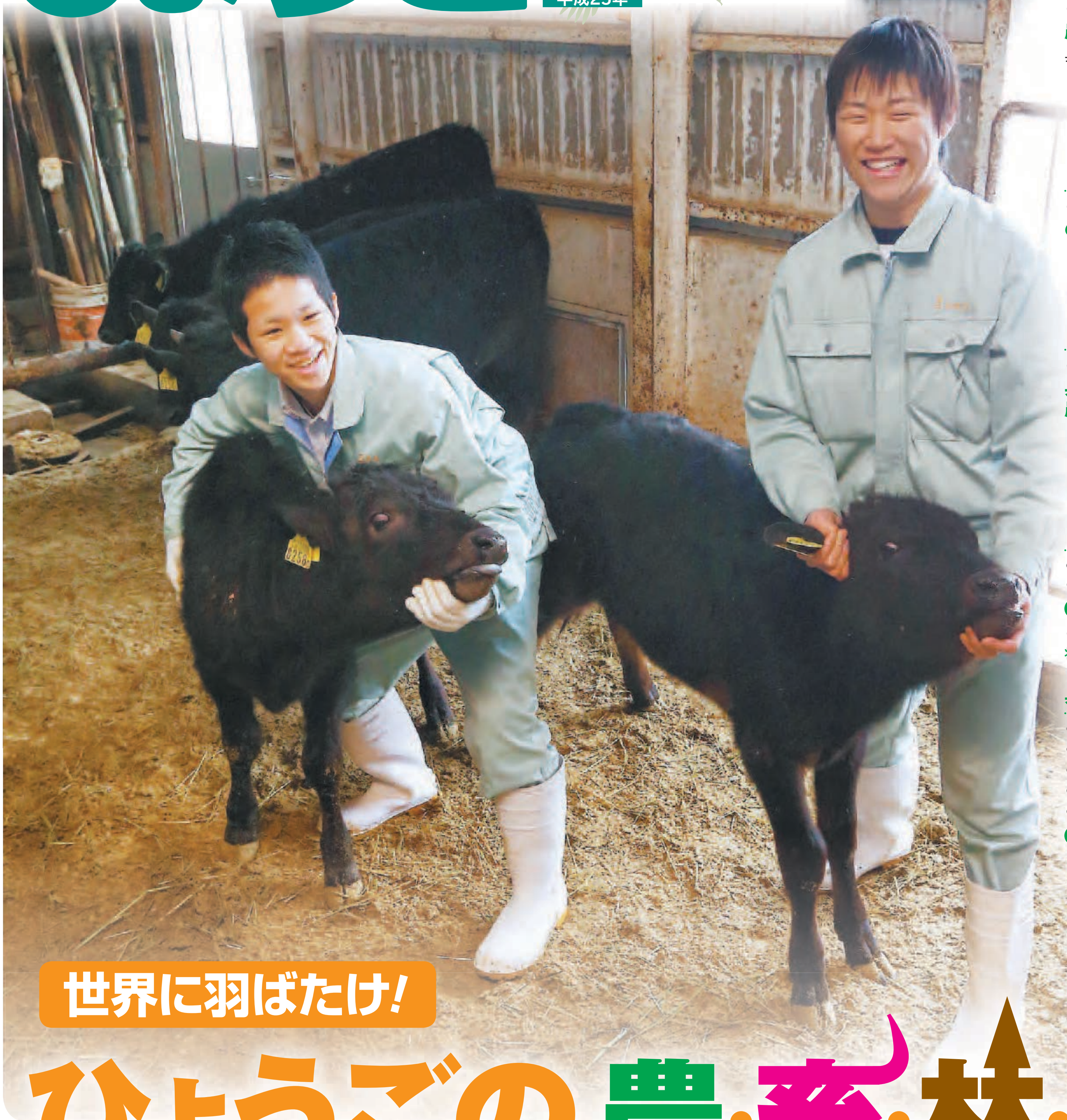
●みんなで体験! ひょうごの魅力
兵庫楽農生活センターの
農産物加工体験
(神戸市西区)

●文化の風 ●県政だより
●くらしのホットライン

6・7面
●長期ビジョンシリーズ 第12回
将来像・協働シナリオ12
「世界との交流を
兵庫の未来へ結ぶ」

●防災情報ピックアップ
●東日本大震災被災地への支援
●フェニックス共済
●プレゼントクイズ
●ひょうご情報スクランブル

8面 県民局版



県立但馬農業高校で
生徒が育てる但馬牛

世界に羽ばたけ!
ひょうごの農・畜・林・水

地域の誇りとなる 特産品・ブランドづくり

特産品づくりの 新たな仕組みを提案

特産品づくりには、その産品に個性と特長があること、そして十分な量産体制が整っていることが不可欠です。各地域で農業の技術・経営改善等の指導・助言を行っている農業改良普及センターでは、それぞれに地域の特色を生かしたテーマを設定。農業者と市場、食品加工メーカー、量販店などが連携した計画的な生産や、生産から加工・販売までを行う6次産業化等を推進しています。

㊞県農業改良課
☎078(362)3421
F078(341)7733

地域の特色を生かした企画	
神　戸	都市近郊葉物野菜ビジネスの構築
阪　神	ひょうご安心ブランド10倍増作戦
加古川	安心ブランド米等による地産地消産地育成
加　西	新たな山田錦ビジネスの創出
姫　路	農商工連携による小豆・ゆず産地育成
光　都	企業と連携した桃源郷づくり
龍　野	100%県産バジルソースの商品化
豊　岡	コウノトリ翔るひょうご安心ブランドの里づくり
新温泉	美方大納言小豆100ha産地化
朝　来	岩津ねぎ4倍増作戦
丹　波	日本一の丹波栗産地の復活
南淡路	食の拠点施設を核とした、たまねぎの新たな販売チャンネル開拓
北淡路	淡路島いちじく1,000t作戦の推進

多彩な農畜水産物の ブランド化を推進

個性や特長のある県産農畜水産物を兵庫県認証食品として認証。キャンペーンの実施や認証食品フェスティバルの開催など、PRに取り組んでいます。さらに、ブランド力を高めるため、産地において出荷規格の統一など一層の品質向上を進めています。特に意欲的な産地へは、個別のブランド戦略の策定や実践を支援。例えば、東播磨地域のスイートコーンや但馬地域の美方大納言小豆、瀬戸内地域ののりなどは生産者の現状や市場ニーズを踏まえて、生産量・販路の拡大、知名度向上などに努めています。また、地域で中心となって取り組む人材を育成するため、研修会を開催しています。

また、輸出促進を図るため、香港において、昨年8月に「フードエキスポ2012」へ出展、11月には「ひょうご農林水産フェア」も開催し、知事によるトップセールスを実施しました。今後も、首都圏で開催される全国規模の展示商談会へ出展したり、海外では既に知名度が高い神戸ビーフとコラボプロモーションを実施したりするなど、国内外でのPR活動に積極的に取り組みます。

※4面「食彩ひょうご」で、県認証食品を紹介しています。

㊞県消費流通課
☎078(362)9213
F078(362)4276

推計人口 5,568,161人　面積 8,396.39㎢　世帯数 2,281,242世帯　【平成25年2月1日現在】

明日の「農」を支える担い手づくり

新規就農者が抱える問題を総合的にサポート

農業従事者の約7割が65歳以上と高齢化が進み、将来の主戦力として新規就農者が必要な今、県では、毎年300人以上の新規就農者を育成・確保することを目標としています。

そこで、就農を希望する人が、身近な場所で農業に必要な知識や技術を習得できるよう、研修を行うモデルファームの設置を農業協同組合や研修事業参入企業などに呼び掛け、研修経費の一部を助成しています。現在、JA兵庫六甲、合同会社エースクール、㈱Teams、㈱パソナ農援隊の4者が農業研修を実施。27人が就農を目指して学んでいます。

さらに、就農に至った人の農業経営が早期に安定するよう、「就農スタートアップ支援」を実施。生活と営農の両面でサポートする親方農家と支援を希望する新規就農者を公募し、マッチングを行っています。親方農家は、栽培技術や経営の指導はもちろん、販路の確保や経営規模の拡大などの相談に乗るといった、後見人的な応援活動を行います。

㊓県農業経営課
☎078（362）9194
Ⓕ078（362）9394

地域農業の未来設計図の策定を支援

高齢化による農業の後継者不足など、地域が抱える人と農地の問題は深刻化しています。また、より強い農業を推進するためには、経営規模の拡大や農地の利用集積により、農地を最大限に有効利用することが必要です。そこで、地域の話し合いによって、今後中心となって農業を行っていく経営体や、その経営体への農地の集積など、地域の未来設計図となる「人・農地プラン」を作成してもらおうと、近畿農政局やJAなどと連携し、市町に助言を行ってきました。

昨年4月、加西市網引町で近畿第1号となるプランを策定。137戸で組織する農事組合法人「あびき」と20代の新規就農者1人、農業者2人を中心となる経営体に位置付け、農地の集積も進んでいます。

今年1月までに23市町において計89プランを策定。今後は他の市町にも拡大していくとともに、作成ノウハウの共有化も進めていきます。

㊓県農業経営課
☎078（362）3409
Ⓕ078（362）9394

沖合漁業の漁師を希望する人に実地研修を実施

但馬地域の沖合漁業は数日間海上で作業する厳しい仕事です。未知の船上生活に対する不安が大きな障壁となり、あきらめるという人が少なくありません。そこで意欲ある未経験者を対象に、実際の漁に参加しながら必要な技術を研修する機会を提供。漁師になることへの不安を取り除くとともに、全くの新人を雇い入れることに抵抗がある経営者の不安も解消します。

研修期間は4月、5月と9月から翌年3月までの延べ9カ月間。23年度は10人が参加。24年度は23年度の研修修了者のうち9人が継続して研修、新たに10人が加わりました。25年度も4月から実地研修が始まります。

㊓県水産課
☎078（362）9230
Ⓕ078（362）3920

繁殖雌牛を増やして 但馬牛の生産をさらに拡大

日本国内はもちろん、海外にもファンが多い神戸ビーフ。その素となる但馬牛は、県内の繁殖農家により優れた資質が継承されてきました。しかし、長引く景気低迷により子牛の価格が下落。農家の高齢化等も重なり、増頭意欲が鈍化しているのも現実です。神戸ビーフの需要拡大に応えるためには、さらに生産基盤を高めることが重要。そこで県では、但馬牛の子牛を産む繁殖雌牛を平成27年度までに2万頭に増やす取り組みを推進。但馬牛・神戸ビーフのブランド強化を一層進めるとともに、繁殖雌牛の導入や牛舎の整備を支援しています。

㊓県畜産課 ☎078（362）3454 Ⓕ078（341）8123

和牛のオリンピックで兵庫県代表牛が「美味しさのチャンピオン」を獲得

繁殖農家が生産した子牛は県内の肥育農家が買い取り、丹精込めて飼育。県内の食肉センターに肉牛として出荷された但馬牛は、霜降りなどの肉質が良いのはもちろんのこと、その「うま味」も高く評価されています。昨年10月に開催された第10回全国和牛能力共進会では「美味(おい)しさのチャンピオン」を獲得。牛肉のおいしさの指標となるオレイン酸などの含有率が全国から出品された175頭の中で最も高く、特別賞「脂肪の質賞」を受賞しました。

豆知識 神戸ビーフと但馬牛

肉質のよい但馬牛(うし)は全国でブランド肉の素となっています。県内で産まれ、県内で肥育した但馬牛で、かつ県内の食肉センターに出荷された肉を「但馬牛(ぎゅう)」、さらに厳しい条件をクリアした肉だけが「神戸ビーフ」として認定されます。

格付		但馬牛			但馬牛／神戸ビーフ	但馬牛／神戸ビーフ
	歩留級数	A・B	A・B	A・B	A・B	A・B
	肉質等級	1	2	3	4	5

牛肉の格付は歩留等級（1頭の牛から取れる可食部分の割合が多いか少ないか）と肉質等級（霜降りの度合いや色、きめ細かさなどを総合評価したもの）で決まる。歩留等級はA～Cの3段階でAが最も良く、肉質等級は1～5の5段階で5が最も良い。

詳しくは「神戸肉流通推進協議会」のホームページへ。
神戸ビーフ 検索

但馬の魚を使って新たな特産品を開発

ニギススティックを持つ香美町商工会青年部の松岡さん

但馬地域では、漁協や加工業者、商工会、行政、研究機関などがチームを組み、但馬産の水産物を使用した新たな商品やメニューの開発、事業者への提案などを進めています。現在までに、利用価値のなかった小型のニギスを干してスティックにしたものや、かに酒用の干しがに「紅がすみ」などを開発。併せて消費地量販店での「但馬のさかなフェア」の開催などで但馬産水産物のブランド化を後押ししています。

㊓県水産課 ☎078（362）9230
Ⓕ078（362）3920

水田を利用した野菜栽培

東播磨地域でのキャベツの収穫風景

県内の耕地は水田が大半を占めていますが、野菜栽培は、大消費地に近いという強みがあり、加工・業務用への需要増も見込まれるため、農家の収益性向上が期待できます。そのため、栽培面積の拡大を目指し、低コスト・高収量の生産システムを産地に提案。業務用向けに開発した生産技術の講習会を実施し、新たな野菜栽培の担い手を育成するとともに、田畑を輪換できる地下かんがいシステムの普及に努めています。

東播磨地域や北播磨地域では、これまで稲を中心に作ってきた集落営農組織によるキャベツ栽培プロジェクトを進行中です。17の営農組織が講習会などに参加しながら取り組んでおり、その栽培面積は計6.8ヘクタールに及んでいます。

㊓県農産園芸課 ☎078（362）3445 Ⓕ078（362）4092

広告
24.5cm×6.5cm

24企P2-124A3

みんなの声 絵本は子どもたちにとって心の栄養ですし、大人の心も豊かにしてくれます。〔井上さん（小野市）〕

モデルファーム・合同会社エースクール
知識と技術だけでなく 共に取り組む仲間も獲得

神戸市西区にある㈲ドリームズファームのほ場では、ブロッコリーとキャベツが収穫の時を迎えていました。この日は、合同会社エースクールが昨年の9月から週末に開講している就農準備研修の最終日。研修生たちは、鎌を片手に一つ一つ丁寧に収穫していきます。その後、ブロッコリーは余分な葉を取り袋詰め、キャベツは葉がめくれないようにテープで留めるなど、出荷の準備まで行いました。

「農作業体験が目的ではなく、あくまでも利益を出す『農業』を学ぶことが目的です」と、エースクールの代表社員、田中康晃さん。研修は6カ月のフルコースの場合、農場実習が30日と講義が20日。実習では、キャベツなどの露地野菜を中心に、道具の使い方から直売所での販売実習まで一連の作業を行い、講義では、作付計画や収支計画の作成など農業経営に関することを学びます。

傷を付けないように丁寧にブロッコリーを収穫

農場実習の講師を務めるドリームズファーム代表取締役の山口和人さんは、「本当に難しいのは就農後、農業に定着すること」と訴えます。農業は生産サイクルが長く、経験を積むには何年も掛かる上に、農家の地域コミュニティーに一人で入っていかなければなりません。「研修には同じ立場の人が集まっているので、支え合う仲間づくりの場としても活用してほしいと思います」。

そして山口さんは、新規就農者に後見人的に指導や助言を行う親方農家としても活動中です。

「新規就農を希望する人は、農業への志が高い。そんな人たちに、これからの農業を支えてほしいので、きちんと『農家』として自立していけるよう後押ししていきたいです」と話しました。

㊓合同会社エースクール
☎078（945）6594

「就農希望者を多方面から支援していきたい」と話す田中さん（左）と山口さん。

4月開講コースの参加者募集中。
詳しくはホームページへ
エースクール 農業塾 検索

研修生の声

但馬功一郎さん
仕事は電子機器のエンジニア。週末に開講しているので仕事を続けながら参加できるのがいいですね。農業の置かれている状況や野菜の作り方を知って、ますますやりたい気持ちが強くなりました。

張(ちょう) 霓(にい)さん
農業は作物のペースに合わせないといけないので大変ですが、自然を感じられる楽しい仕事。新鮮な野菜のおいしさも実感できました。研修を続けて、いつか就農したいと思います。

「農」に親しめる環境づくり

「県産県消」を推進

使おう！ 県産木材

県産の木材を使用すれば、県内の森林の整備が進み、山崩れや土砂の流出を防ぐこともできます。県産木材を活用して兵庫の森を元気にしましょう。

新築、リフォームを検討中の方、ひょうごの木を使いませんか

低金利の住宅ローンが利用できます

定期的に家づくりセミナーや産地見学ツアー、完成見学会を開催しています

詳しくは、県ホームページへ
兵庫県 木造住宅ローン 検索

木のぬくもりに包まれて安らぎの暮らしを

㊓県林務課 ☎078（362）9224
Ⓕ078（362）3954

行こう！ 直売所

県産の農林水産物や特産品、加工品などを取り扱っている直売所が県内各地にあります。新鮮でおいしい旬の恵みを探しに出掛けませんか。

兵庫楽農生活センターのホームページでは、県内の直売所や朝市、特産館を紹介しています。

※県では、生産者団体等に対して、直売所の整備や直売所向けの生産活動、都市部での直売活動に必要な経費を補助しています。

農産物等直売所・朝市・特産館 検索

㊓県総合農政課
☎078（362）3444
Ⓕ078（362）4458

企業とのマッチングで農山村を活性化

企業の持つ人材や技術等を農山村の活性化につなげるため、農業を軸として地域貢献活動をしたいと考える企業と農山村のマッチングを行う「ひょうご企業と農山村のふるさとづくり」を展開。現在、農作業応援や農産物買い支えなど3組が活動しています。

パン類の製造・販売などを行う岡野食品産業㈱と調理師養成の専門学校を運営するみかしほ学園は、神河町の4集落（根宇野、山田、東柏尾、杉）と連携協定を締結。24年9月から、地域住民との交流を深めながら活動に取り組んでいます。

2月22日、岡野食品産業の社員とみかしほ学園の学生、神河町の4集落の住民が集まり、新商品開発のための交流会を実施。学生が地域の特産であるユズと米粉を使用して作った料理や菓子を皆で試食。「ようかんはユズが効いていておいしい」「米粉マドレーヌの中にユズジャムをもっと加えればより風味が強まる」など、今後の商品作りに役立つ意見が多く出ました。

岡野食品産業の社員は収穫作業を手伝ったり、里山の管理作業に参加したりして、農作業を応援。また、みかしほ学園の学生が地元産のユズや米粉等の農作物を使った新商品を開発するなど地域連携による活性化を進めています。

㊓県楽農生活室
☎078（362）9198
Ⓕ078（362）4458

市民農園で楽農生活を始めよう

農業を体験してみたいという人のために、県内には多くの市民農園が整備されています。収穫の喜びを味わえるとともに、安全安心で新鮮な農産物が手に入り、健康づくりの場、家族や仲間との交流の場、子どもたちの食育の場としても最適です。市民農園で農を楽しむ生活を始めてみませんか。

兵庫楽農生活センターのホームページでは県内の市民農園を紹介しています。また、同センターでは農機具の貸し出しなどさまざまな支援メニューを用意。農にふれる楽しい体験イベントも開催しています。

㊓兵庫楽農生活センター
☎078（965）2651 Ⓕ078（965）2653

4・5面「みんなで体験！ひょうごの魅力」で兵庫楽農生活センター体験イベントのいちご大福づくりを紹介しています。

広告
24.5cm×6.5cm

みんなの声 秋に豊岡市へ行き、元気に育っているコウノトリを見ました。よき思い出です。〔小渕さん（宝塚市）〕

県政だより

お米と健康のつどい

2月16日　県公館（神戸市）

お米を中心とした食生活の良さや食と農の大切さをPR。「お弁当・おむすびコンテスト」などの表彰式に続いて、野菜スイーツで有名なパティシエの柿沢安耶さんが講演。お米と野菜のおいしさが広がるアイデアや食の大切さについて話しました。

第317回定例県議会開会

2月19日　県議会議場（神戸市）

兵庫芸術文化センター管弦楽団による議場コンサートで幕開け。井戸知事は「安全安心の促進」「健康で安心な生活の実現」「次代を担う人づくり」「躍進する経済社会づくり」「地域活力の創出」「兵庫の自立」を柱に新年度の施策を展開すると提案説明を行いました。

姫路と西宮のこども家庭センターの新庁舎が竣工

2月7日　姫路こども家庭センター
2月21日　西宮こども家庭センター〈写真〉

児童虐待など子どもを取り巻く問題に迅速、的確に対応する同センター。老朽化が進んでいた庁舎を建て替えました。新庁舎は県産木材を活用した温もりのある木造2階建ての建物で、太陽光パネルの設置など地球環境にも配慮しました。

防災・減災体験セミナー in 東播磨

3月3日　明石市防災センター

「家族一緒に暮らしの中から考える」をテーマに県内10地域で開催。この日は、東播磨在住の親子など11組が参加。県防災士のアドバイスを受けながら避難グッズを選定し、実際にその重さを体感するなど、体験を通して防災と減災を学びました。

くらしのホットライン

注文していないのに送られてきた健康食品

健康食品の電話勧誘販売で、「断ったにもかかわらず商品が送られてきた」という相談が寄せられています。

Q 電話で「通常より安くするから」と健康食品を勧められた。「常用している健康食品がある」と断ったのに、後日商品が送られてきた。どうすればいいだろうか。

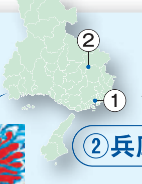
A 商品を一方的に送りつけ、消費者が受け取った以上、購入しなければならないと勘違いして支払わせることを狙った商法で、〝送りつけ商法〟と呼ばれる手口です。申し込んでもいないのに強引に送ると言われ、断ると暴言を吐かれたり、「血液がサラサラになる」「血圧が下がる」などと、あたかも病気が治るかのようなセールストークがなされたりといった問題点が見受けられます。申し込んだ覚えもなく、購入するつもりがなければきっぱりと断りましょう。もし、断ったにもかかわらず商品が届いてしまったら、受け取りを拒否しましょう。また、電話勧誘で承諾してしまった場合でもクーリング・オフが可能です。トラブルに遭った場合は最寄りの消費生活相談窓口にご相談ください。（淡路消費生活センター）

消費者ホットライン ☎0570（064）370（守ろうよ、みんなを）

音声案内に従って郵便番号を入力すると、お近くの県や市町の消費生活センター等につながります。※各センターで受付時間は異なりますが、おおむね平日9時～16時30分、土曜、日曜、祝休日10時～16時です※IP電話、PHS、プリペイド式携帯電話からは利用できませんので、右記の県消費生活相談窓口等へ直接電話してください

- ▶総　合　☎078（303）0999
- ▶東播磨　☎079（424）0999
- ▶中播磨　☎079（281）0993
- ▶西播磨　☎0791（58）0993
- ▶但　馬　☎0796（23）0999
- ▶丹　波　☎0795（72）0999
- ▶淡　路　☎0799（23）0993

文化の風



※休館日等は各施設にお問い合わせください

①横尾忠則現代美術館

開館記念展Ⅱ

ワード・イン・アート
～字は絵のごとく 絵は字のごとく

6月30日㊐まで

横尾忠則《ME MELANCHOLIA》2010年 作家蔵

横尾作品に描かれたさまざまな文字に焦点を当てます。絵画のなかのタイポグラフィ、風景のなかの文字など4つのパートに分け、1950年代のポスターから未発表の最新作まで、多彩な作品から文字を含んだ約75点を展示します。

▶関連行事▷横尾忠則公開制作：4月13日㊏、14日㊐、6月15日㊏、16日㊐（変更の場合あり）▷記念講演会：5月18日㊏▷キュレーターズ・トーク：3月23日㊏、4月20日㊏、5月4日㊏㊗、6月1日㊏

◆観覧料＝一般800円、大学生600円、高校生・65歳以上400円、中学生以下無料 ㊐神戸市灘区原田通3-8-30 ☎078（855）5607（総合案内）Ⓕ078（806）3888 Ⓗ「横尾忠則現代美術館」で検索 ㊋阪急電鉄「王子公園」駅から徒歩約6分、JR「灘」駅から徒歩約10分、駐車場31台（有料）

②兵庫陶芸美術館

特別展

尾形周平展

尾形周平 色絵赤壁図急須 江戸時代後期 兵庫陶芸美術館

3月9日㊏～5月26日㊐

江戸後期の陶工、初代尾形周平は自身の作品創作の傍ら、姫路の東山焼や淡路の珉平焼などの創業に関わりました。周平の作品を中心に、同時代に活躍した陶工の作品など174点を展示。特に初代の69点のうち26点は書籍等でも紹介されたことがない初公開作品です。

▶関連行事▷記念講演会：4月27日㊏、5月11日㊏（要申し込み、各先着110人）▷学芸員によるギャラリー・トーク：3月16日㊏、30日㊏、4月13日㊏、27日㊏、5月11日㊏、25日㊏▶同時開催▷テーマ展「丹波の4人-市野弘之・生田和孝・大上昇・市野信水-」：3月23日㊏～6月23日㊐

◆観覧料＝一般1,000円、大学生800円、高校生・65歳以上500円、中学生以下無料 ㊐篠山市今田町上立杭4 ☎079（597）3961 Ⓕ079（597）3967 Ⓗ「兵庫陶芸美術館」で検索 ㊋JR「相野」駅からバスで約15分、駐車場58台

元気コラム

農業県兵庫

兵庫県知事 井戸敏三

兵庫の農林水産物の自給率は、カロリーベースで16％だが、生産額ベースで見てみると40％近い。地域別では、淡路370％、但馬160％、丹波110％であり、兵庫は有数の農業県といえるのではないか。

兵庫農業の特色をあげれば、①大都市近郊農業に加えて、②第2種兼業農家が多い、③地域特性に応じた農業地域を形成していることなどがあげられる。このことを踏まえると、今後の基本方向も見えてくるのではないか。

まずは、農業のブランド化である。消費者は安全で高品質の農産物には少々通常価格を超えてもその価値を評価してくれる。神戸ビーフや淡路のたまねぎなど、すでに銘柄を確立している産物も多い。今後、各地の特色を生かした農産物を売り出していく必要がある。課題は、生産量が十分に追い付いていかないものが多いことだ。生産様式の工夫などを図る必要がある。

第2は、競争力の強化である。兵庫の農産物の品質を保証するため、ひょうご食品認証制度をすでに持っている。あわせて、農業基盤を整備しなくてはならない。物流では農道の整備や加工場、保管施設なども欠かせない。

第3は、特産品の開発である。農産物を原材料で供給するのと、付加価値を高めて提供するのでは10倍ぐらいの差があるといわれる。すでに各地で、巻きずし、佃煮など広く見られる。ゆず栽培としょうゆメーカーとタイアップするなども新しい取り組みではないか。いわゆる6次産業化（1次×2次×3次産業）である。

第4は、市場や消費者との連携である。大屋高原の高原野菜団地では、大手生協とタイアップして高級野菜を供給している。作業を計画化し常時定量出荷できる体制をつくられていた。また、豊岡のある農事組合は市場とタイアップして、一種の全量買い上げ制をとっている。生産者は安心して生産に専念できる。近頃は、インターネット販売で直接消費者へ作物を届けている農家が増えてきている。さらに、直売所などをつくる。顔の見える売買で安心安全の信頼を確保しうるのではないか。

第5は、人づくり担い手づくりである。一つは、ある程度の農地の集積規模をもつ農業者が会社等をつくり、これにより生産出荷する体制をつくることだ。もう一つは、集落営農の推進だ。まさに、兵庫農業の生産単位としての基本となりうる。さらに、最近は、農業を目指す若者や定年退職後の就農者も目立ってきている。他産業の労働者の転職だってある。農業もある程度装置産業であり、起業支援の仕組みも用意しなくてはならない。

第6は、輸出。日本の農産物について海外の信頼は高い。消費者として少々値段がはっても購入されるらしい。アジアのみならずアメリカなど本格的に輸出を検討すべきだ。

第7は、楽農生活。生きがいや趣味の農業があってよい。私は、楽農生活といっている。自然との交流を通じて自分の糧を得る。これが実現できれば自分の食料は自分で確保できる。食料安全保障にも通じる。

まだまだ農業を取り巻く環境は厳しい。担い手の高齢化も深刻だ。しかし、絶対に世の中は動きつつある。人は食なくして生きていけないだけでなく、自分の国や地域を持続可能なものとするためにも農業の確立が不可欠である。

農業県兵庫、頑張ろう。

みんなで体験! ひょうごの魅力

このコーナーでは、読者リポーターが兵庫のさまざまな魅力を実際に体験し紹介します。

今月の体験

兵庫楽農生活センターの農産物加工体験（神戸市西区）

新鮮イチゴを丸ごと包む大福づくりに挑戦しよう

数を重ねるうちにこつをつかみ、どんどん手早くきれいに作れるようになっていきます

気軽に食や農の大切さを学んでもらいたいと、野菜や米作り体験などを実施している兵庫楽農生活センター。その一環として、地元農家のお母さんたちが、旬の野菜や果物を使ったジャムやお菓子作りを教えています。そんな加工体験の一つ、「いちご大福をつくろう」に娘と参加しました。

用意してきたエプロンと三角巾を着けて加工施設内の調理場へ。調理台にはすでにイチゴや白玉粉などの材料、ボウルや木べらなどの器具が並び、いつでも作業に掛かれる状態になっていました。

実践加工グループの西馬幸穂さんがアドバイスを交えながら作り方を分かりやすく説明してくれる間、娘は台の上の赤いフルーツにくぎ付け。「西区で取れたばかりの新鮮で安全なイチゴを用意しました。みずみずしくて、程よい酸味があんとよく合うので、おいしいイチゴ大福ができますよ」との言葉に、期待は膨らむ一方です。

まずは、大福の皮になる柔らかい餅作りから。白玉粉と砂糖を入れたボウルに私が少しずつ水を加え、粉の塊が残らないように娘が一生懸命混ぜ合わせます。均一に混ざったら蒸し器で蒸し、温かいうちに練り上げるのですが、弾力が強いため、ここは私の出番です。「頑張れ」と声援を受けながらなんとか透明に近づけたら、イチゴをあん、餅の順に包んでいきます。

砂遊びが大好きな娘は、小さな手を粉まみれにしながら「すべすべで気持ちいい」「楽しい」と率先してたくさん丸めました。最後に余ったイチゴを飾り付けて完成です。中身がぎっしり詰まってずっしり重い和菓子に、娘も笑顔で「おいしそう」と声を弾ませました。

蒸す作業や力のいる作業などは西馬さんが優しく手助けしてくれるので、小さな子ども連れでも安心。参加者に年齢制限は設けていないそうです。同じ要領でキウイとバナナの大福も作り、1時間半ほどの楽しい体験は終わりました。

西区にはイチゴの他にもおいしい農産物がたくさんあると調理中に耳にし、帰りに施設の隣にある直売所に立ち寄りました。ニンジンやブロッコリーなど地元産のさまざまな野菜が並び、どれも新鮮で色が濃くつやつやとしています。作り手の名前を書いたシールが張られ、顔が見えるのも安心です。体験のついでに夕食の材料も購入でき、「晩ごはんもデザートも楽しみ！」と大満足の娘。これをきっかけに、家でも母娘でいろいろなお菓子作りにチャレンジしたいです。

1月から取り扱いを始めた有機野菜のコーナーに興味津々

兵庫楽農生活センター

農業・農産物加工体験、里山再生塾のほか、直売所や直営のレストランを設置して地産地消や食育の場を提供しています。また市民農園利用者から新規就農希望者向けまで幅広い農業研修も実施し、食と農に親しむ健康で豊かな暮らしを支援しています。

神戸市西区神出町小東野30-17
☎078（965）2651 Ⓕ078（965）2653
▶開園時間＝9時～17時▶休園日＝水曜（祝日の場合は翌平日）▶アクセス＝〈電車・バス〉JR「明石」駅または神戸市営地下鉄「西神中央」駅、神戸電鉄「三木」駅から神姫バス「老ノ口」下車、徒歩約15分〈車〉第二神明道路「玉津」ICから約20分または山陽自動車道「三木小野」ICから約20分【体験イベント】4、5月はイチゴ大福やイチゴジャム、パン作り、そば打ち体験等を実施（要予約、先着順）。その他の内容や申し込みの詳細は「楽農生活センター　体験イベント」で検索。
◎農産物直売所「楽農市場 きらめき神出」▶営業時間＝10時～15時30分▶定休日＝水曜（祝日の場合は翌平日）

今回体験したのは 田中明美さん、佳奈ちゃん

春に小学校入学を控え、一緒にできることが増えてきました。果物やスイーツが大好きな娘と2人で初めてのお菓子作りを楽しみたいです。

体験コーナーの読者レポーターを募集しています（詳細は7面へ）。

食彩ひょうご

兵庫県認証食品を紹介します

のり

激しい潮流が育む一番摘みの豊かな風味

兵庫県は日本有数ののりの産地。生産量は全国シェア約20％を誇ります。瀬戸内海の広い範囲に多くの養殖網が張られ、冬から春にかけてが収穫期です。

明石市にある㈱鍵庄は創業36年ののり加工販売会社。自社ブランドの焼きのりや味付けのりには、明石海峡周辺の網から最初に取れる〝一番摘み〟しか使わないというこだわりを持っています。

「たれが浸透したロールに焼きのりを通せば、味付けのりになります」と入江さん

「明石海峡の激しい潮流にもまれ、厚みがあり、色つやの良いのりが育ちます。一番摘みは海水に含まれる栄養塩を多く吸収しているので、味が格段に良いのです」と代表取締役社長の入江恵子さん。

県内で収穫されたのりは、養殖業者の加工場で洗浄、抄き、乾燥などの工程を経て〝板のり〟と呼ばれる規定の21チセン×19チセンに整え、播磨町の県漁連のり流通センターに集められます。加工会社は同センターから入札で板のりを仕入れ、焼いたり、たれで味を付けたりするのです。

一番摘みは柔らかいのが特徴。ゆっくりと丁寧に焼き上げられたのりは、パリッとした歯応えながら、口溶けは滑らか。ほんのりと磯の風味が広がります。

「明石生まれののりをPRしたい」と平成21年にひょうご推奨ブランドに申請。焼きのりと味付けのりのほか、アレルギー特定原材料25品目を一切使っていない味付けのりも認証されています。本社にある直売所や百貨店、量販店、同社のホームページなどで購入できます。

のりの漁船は〝もぐり船〟と呼ばれ、養殖網の下をくぐりながら収穫していきます

抽選で味付けのり（左）、焼きのり（中）（共に80枚入り）、アレルギー特定原材料不使用の味付けのり（右）（56枚入り）をセットでプレゼント（詳細は6面プレゼントクイズへ）

兵庫県認証食品とは…

ひょうご推奨ブランド

県産の農・畜・水産物および加工食品で「安全・安心」かつ「個性・特長」がある食品を「兵庫県認証食品」として認証。「推奨ブランド」と、残留農薬等が国基準の10分の1以下など、より厳しい基準をクリアした「安心ブランド」の2種類があります。

㊐㈱鍵庄☎078（935）8484 Ⓕ078（935）8910　鍵庄　検索

広告
24.5cm×6.5cm

広告
24.5cm×6.5cm

みんなの声 「くらしのホットライン」は身近なトラブルに関する情報が載っているので、とてもためになります。〔堂本さん（神戸市）〕

みんなの声 県立円山川公苑にスケートリンクがあることを初めて知りました。〔望月さん（加古川市）〕

ひょうご情報スクランブル

この情報は3月5日現在のものです。

申=申し込み 問=問い合わせ ☎=電話 F=ファクス E=Eメール H=ホームページ

※4月以降の事業については平成25年度予算の県および市町の議会での成立を前提としています

イベント

淡路花祭2013春

全島挙げての花のイベント。オープニングは花と緑の講演会やトークショーを開催（3月23日㊏南淡公民館）。期間中は立体造形展、クイズラリーなど多彩なプログラムが目白押し◆開催期間＝3月23日㊏～5月19日㊐◆場所＝島内の花の施設、名所（あわじ花さじき、淡路夢舞台、ウェルネスパーク五色など）問㈶淡路島くにうみ協会☎0799(24)2001、F0799(25)2521へ。H「淡路花祭2013」で検索。

県立フラワーセンター春の催し

●春の種子・球根特売会

グラジオラスやダリア、アマリリスなどの球根、ガーベラやカスミソウなどの種を安価で販売◆期間＝3月20日㊌㊗まで

●春咲きエビネ展

日本原産の野生ラン、エビネを展示。色や形などバラエティーに富んだ花々が咲き誇る◆期間＝3月28日㊍～4月2日㊋

問同センター☎0790(47)1182、F0790(47)1561へ。H「兵庫県立フラワーセンター」で検索。

オプトピア春の特別上映「光都映画祭」

播磨科学公園都市のオプトピア（上郡町）でアニメ映画を上映。無料◆期間＝3月23日㊏～31日㊐（25日㊊を除く）◆上映作品＝「マダガスカル3」「トムとジェリー シャーロックホームズ」など問オプトピア☎0791(58)1155、F0791(58)1210へ。H「春の光都映画祭」で検索。

第2回科学の甲子園全国大会

全国の科学好きな高校生47チームが集い、科学技術、理科、数学等の知識を競い合う同大会を一般公開。無料◆開催日＝3月23日㊏～25日㊊（一般公開：23日㊏、24日㊐）◆場所＝県立総合体育館（西宮市）問㈱科学技術振興機構☎03(5214)7053、F03(5214)7635へ。H「科学の甲子園」で検索。

募集

ふるさとひょうご創生塾の塾生

地域づくりの新しいリーダーを目指し、地域活動に必要な実践力を高める講座。事前申し込み必要◆期間＝5月～平成27年3月（主に第3土曜、日曜）◆場所＝神戸クリスタルタワー（神戸市中央区）◆定員＝30人程度（選考）◆費用＝年額3万円申問4月30日㊋（必着）までに所定の申込書（ダウンロード可能）を郵送、持参、ファクス、Eメール、ホームページで〒650−0044 神戸市中央区東川崎町1−1−3 生涯学習情報プラザ☎078(360)9015、F078(360)9016、Eplaza@hyogo-ikigai.jpへ。H「インターキャンパス」で検索。

県営住宅の入居者

◆対象＝県内在住・在勤の人（収入など申し込み資格要件あり）◆申込書配布場所＝3月15日㊎から市・区役所、町役場、各県営住宅管理事務所など申3月25日㊊～29日㊎（消印有効）に所定の申込書（ダウンロード可能）を郵送で各管理事務所へ（一部住宅は常時募集）問県住宅供給公社☎078(232)9585、F078(232)9581へ。H「兵庫県営住宅」で検索。

機械・設備の割賦販売、リース（設備貸与制度）

県内で設備投資する中小企業者に代わって、ひょうご産業活性化センターが希望の設備を購入し、長期かつ固定損料（金利）で割賦販売またはリース◆対象業種＝製造業、建設業、運送業、卸売業、サービス業、小売業等◆対象設備＝4月～26年3月に県内に設置が完了する新品の設備◆金利＝割賦：年利1.5%～2.5%、リース：1.351%～2.996%◆割賦・リース期間＝3年～7年◆保証金＝割賦：貸与額の10%、リース：不要◆連帯保証人＝原則不要問同センター☎078(230)8801、F078(230)8391へ。H「ひょうご産業　設備貸与制度」で検索。

県立病院看護師修学資金貸与者

看護師等養成施設に在学中、修学に必要な資金を貸与。返還免除制度あり◆貸与額＝月5万円◆定員＝70人程度申問申込方法など詳細については県病院局管理課☎078(362)3297、F078(362)3322へ。H「兵庫県　看護師修学資金」で検索。

「県民だよりひょうご」親子リポーター・学生リポーター

紙面で県内の体験型ツーリズムの魅力を紹介するリポーター（4･5面「みんなで体験!ひょうごの魅力」を参照）◆対象＝県内在住の親子（子どもは高校生以下）または県内の大学、専門学校に通う学生のグループ（2、3人程度）申問代表者の住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業または学校名、参加者全員の氏名・年齢・性別・リポーターへの意気込みを3月29日㊎までにはがき、ファクス、Eメールで〒650−8567（住所不要）県広報課☎078(362)3019、F078(362)3903、Ephoto@koho.pref.hyogo.lg.jpへ。

補助事業

住宅耐震対策

●わが家の耐震改修促進事業

昭和56年5月31日以前に着工された住宅を対象（その他要件あり）に耐震化する際の計画策定や改修工事の費用の一部を助成◆計画策定費補助＝一戸建て住宅は上限20万円◆工事費補助＝一戸建て住宅は上限60万円（25年度から評点が0.7未満の木造住宅は上限70万円）、さらに上限20万円まで加算※共同住宅については問い合わせてください申問県建築指導課☎078(362)4340、F078(362)4455へ。H「わが家の耐震改修」で検索。

●簡易耐震診断推進事業

県内の市町が簡易耐震診断員を派遣し、調査・診断を実施◆対象住宅＝昭和56年5月31日以前に着工されたもの◆費用＝木造一戸建て住宅の場合1棟3,000円（無料の市町あり）申問住所地の市町へ。

ひょうご安全の日推進事業助成金

防災、減災に役立つ活動に助成◆対象＝NPO、自主防災組織、実行委員会、学生グループなどの団体が4月～26年3月の間の6カ月以内に県内で実施する事業（ほか要件あり）◆助成額＝地域事業2万円～50万円、全県事業5万円～100万円

◆事業開始月と申請期間

	事業開始月	申請期間
第1期	4月～6月	3月1日～19日
第2期	7月～10月	5月1日～20日
第3期	11月～26年3月	8月19日～9月6日

申事業を実施する地域を所管する各県民局防災担当課へ問ひょうご安全の日推進県民会議☎078(362)9984、F078(362)9876へ。H「ひょうご安全の日」で検索。

試験

第1回兵庫県警察官

◆試験日＝5月12日㊐◆受付期間＝3月22日㊎から郵送の場合4月12日㊎（消印有効）まで、持参の場合4月18日㊍まで◆試験案内・申込書配布＝県内の各警察署、県警察本部または郵送による請求申問〒650−8510（住所不要）県警察本部警察官採用センター☎F078(371)4515、フリーダイヤル(0120)145314または各警察署へ。H「第1回兵庫県警察官」で検索。

兵庫県職員（看護師等）

県立病院に勤務する正規の看護師（助産師含む）の臨時募集◆試験日＝4月24日㊌◆試験案内・申込書配布＝県病院局管理課、各県立病院、ホームページなど◆採用日＝25年6月1日申問所定の申込書を郵送（4月15日㊊消印有効）または持参（4月16日㊋まで）で〒650−8567（住所不要）県病院局管理課☎078(362)3297、F078(362)3322へ。H「兵庫県職員　看護師」で検索。

お知らせ

有害情報から子どもを守る フィルタリングを利用しましょう

携帯電話やスマートフォン（スマホ）でのインターネットを通じた青少年のトラブルや犯罪被害が後を絶ちません。子どものコミュニティーサイトに起因する犯罪被害者の約9割がフィルタリング未加入です。フィルタリングは子どもに見せたくない有害情報サイトへのアクセスを制限できる有効な機能です。スマホの場合は携帯電話回線と無線LAN回線の両方に対応したフィルタリングアプリが必要です問県青少年課☎078(362)3142、F078(362)3957へ。

育成医療と養育医療の給付申請窓口が市町に移ります

4月1日から、育成医療と養育医療の申請窓口が県（健康福祉事務所）から市町に移ります。給付内容に変更はありません

<育成医療>

身体に障害のある児童が生活能力を得るために必要な医療費を支給問県障害福祉課☎078(362)9497、F078(362)3911

<養育医療>

身体の発育が未熟なまま出生した乳児（未熟児）の入院養育費を給付問県健康増進課☎078(362)3250、F078(362)3913

自殺対策強化月間

国では月別自殺者数が最も多い3月を「自殺対策強化月間」と定めています。一人一人が自殺やうつなどの精神疾患について正しく理解するとともに、周りが気付くこと、相手の話にじっくりと耳を傾けること、早めに専門機関につなぐこと、温かく寄り添いながら見守ることが重要です。もし、あなたが悩んでいたら一人で悩まないで、まずは相談してください H「自殺対策」で検索（内閣府のホームページ）。

●こころの健康相談統一ダイヤル

全国どこからでも、電話をかけた所在地の公的な相談機関に接続されます☎0570(064)556

4月1日施行 受動喫煙の防止等に関する条例

受動喫煙とは他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。同条例は、公共的空間を有する全ての施設について、受動喫煙を防止するためのルールを定めています（経過措置として宿泊施設、飲食店等への各種義務規定の適用は、26年4月からとなります）。

●県民の皆さんへ

喫煙を禁止されている区域では、たばこを吸わないでください。

●保護者の皆さんへ

未成年者を受動喫煙から守るため、喫煙室や喫煙区域に立ち入らせないようお願いします。

●施設管理者の皆さんへ

施設区分に応じて、禁煙や分煙など必要な措置を講じるとともに、その表示をしてください。

問県受動喫煙対策室☎078(362)9146、F078(362)3913へ。H「兵庫県　受動喫煙」で検索。

地籍調査へのご協力のお願い

地籍調査とは、土地の境界や面積などを明確にするための調査で、その結果を基に登記簿を更新します。いわば正確な「土地の戸籍」をつくるためのものです。土地に関するトラブルを未然に防いだり、災害の復旧などをスムーズに実施できたりといったメリットがあります。調査は主に市町が行い、立ち会いや資料提供などのご協力をお願いします問県農地整備課☎078(362)3431、F078(341)2101へ。H「地籍調査」で検索（国土交通省のホームページ）。

「さわやか県民相談フリーダイヤル」の受付を一部変更します

県政に対するご意見・ご要望から日常生活の問題まで、さまざまな相談を県民総合相談センターおよび各県民局（神戸を除く）で受け付ける「さわやか県民相談」。これまで閉庁日（土曜、日曜、祝休日、年末年始）の電話相談は県民総合相談センターで受けていましたが、4月1日から留守番電話での対応となり、開庁日にご指定の電話番号に折り返し連絡します。開庁日の相談は変更ありません（フリーダイヤルは8面上部参照）。

さわやか提案箱

県政へのご意見・ご質問をお受けします。

兵庫県 さわやか提案箱 検索

播磨科学公園都市

光都21

戸建住宅地分譲

先着順受付中!!

生活は自分流に創造する、そんな方は必見の自然環境豊かな丘陵地の宅地です!

新・木の家、木生派（こせい）の家づくり

ほっとタウン光都 7区画

4期3次 建築条件付一般宅地分譲・定期借地権付分譲

場所	たつの市新宮町光都2-272-131ほか
宅地面積・価格（分譲）	228平方メートル（約69坪）・1,010万円（51号地）～ 363平方メートル（約110坪）・1,431.3万円（57号地）
共同分譲事業者（電話番号）	池尻殖産㈱ フリーダイヤル0120(68)4118 大松建設㈱ ☎0790(62)4648 ㈱山弘 フリーダイヤル0120(12)8076
特色	環境：無電柱化の街並み。眺望の良い宅地 教育：託児施設から小中学校、高校までそろっています 生活：「光都プラザ」をはじめ、生活利便施設も近接

詳しくは↓ ほっとタウン光都 検索

各社のホームページもご覧ください

コート21 18区画

4期1・2次 建築条件付一般宅地分譲・定期借地権付分譲（大手住宅メーカー6社と共同分譲中）

詳しくは➡ コート21 検索

今なら、兵庫県の助成制度等が受けられます

分譲の場合▶太陽光発電システム整備助成最大165万円 ▶若年世帯新居購入助成100万円▶安全で快適な家づくり助成最大100万円▶災害助成（平成21年8月発生台風第9号被災者50万円）▶多世代近住支援制度

定期借地の場合▶太陽光発電システム整備助成最大20万円

問兵庫県企業庁住宅分譲室 ☎078(362)3872 F078(362)4394

広告
24.5cm×6.5cm

東日本大震災被災地への支援

住民主体の復興のノウハウを被災地へ

県では阪神・淡路大震災からの復興過程で、商店街の活性化などのまちづくりを先導してきた人材を東北の被災地に派遣しています。2月末時点で7団体が被災地で活動を展開、神戸市長田区の野田北まちづくり協議会もその一つです。

同協議会は復興都市区画整理事業の計画策定に携わるなど、住民主体のまちづくりに大きな役割を担った経験があり、宮城県石巻市の地域団体からの「住民主体の意思決定の仕組みをつくりたい」という要請に基づいて派遣されました。被災地では壁画作りなどのイベントを開催。住民にさまざまな役割を割り振って地域活動を体験してもらうとともに、実際のまちづくりの経験をトークセッションで伝えました。同協議会の石井修さんは「住民同士で話し合おうという意欲が生まれてきた」と手応えを感じています。

今後も災害復興公営住宅への移転など復興ステージの変化に応じ、コミュニティーづくりなどの幅広い分野での人材派遣を継続していく予定です。

問県復興支援課 ☎078(362)4339 F078(362)4459

防災情報ピックアップ

地震時に備えて室内の安全対策を

地震時には、家具や家電の転倒・落下によりけがをしたり、転倒した家具等が避難路をふさいだりすることがあります。このような被害は、家具や家電の配置換え、転倒防止器具の取り付け、ガラス飛散防止シートの貼り付けなどにより防ぐことができます。引っ越しや部屋の模様替えの際には、室内の安全対策に取り組みましょう。詳しくは県ホームページを参照（H「兵庫　室内安全」で検索）。

問県防災計画課☎078(362)9809 F078(362)9839

ハイチ臨時代理大使が来県し義援金に感謝

平成22年1月に発生し、30万人を超える犠牲者を出したハイチ地震。県民の皆さんから約3,000万円の義援金が寄せられ、小学校の再建や感染症予防教育の実施などに充てられました。これら一連のプロジェクトが終了したことを受け、2月19日に同国臨時代理大使のジュディット・エグザヴィエールさんが井戸知事を訪問。兵庫県民への感謝の気持ちを伝えました。

問県防災企画課 ☎078(362)9870 F078(362)9914

フェニックス共済

阪神・淡路大震災を教訓に生まれた助け合いの制度です。

問（公財）県住宅再建共済基金 ☎078(362)9400 F078(362)9405

フェニックス共済 検索

区分	負担金	被害認定	給付金
住宅所有者	年額 5,000円	半壊以上	最高 600万円
マンション共用部分※1	年額 2,400円	半壊以上	最高 300万円
家財※2	年額 1,500円	半壊以上または床上浸水	最高 50万円

※1負担金、給付金とも住戸数を掛けた額となります

※2住宅所有者加入と同時加入の場合、負担金を500円割り引きます

みんなで目指す「創造と共生の舞台・兵庫」～2040年への協働戦略

長期ビジョンシリーズ 第12回

新しい12の将来像・協働シナリオを紹介します

県では10年ぶりに「21世紀兵庫長期ビジョン」を見直しました。改訂したビジョンでは、県民の皆さんとの議論を経て、2040年に目指す姿を12の将来像として描き、実現に向けた多様な主体の協働シナリオを掲げています。

兵庫が目指す「将来像12」

世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

世界に開かれた兵庫づくりが進み、世界との交流が地域の活力に結び付くことで、相互に補完しながら共生・成長する「アジア交流圏」を形成する兵庫の姿を描いています。

再生可能エネルギーの先進地デンマークから関係者を招き、あわじ環境未来島国際シンポジウムを開催

兵庫がアジアの人材育成拠点に

▶兵庫発の人材が世界に羽ばたき、国内外の創造的な人材が集まる国際的な知の拠点を形成している

多文化共生の暮らしが実現

▶外国人県民にも暮らしやすい生活環境が整い、地域住民と外国人県民が助け合う社会が実現している

世界と双方向に結びつく兵庫に

▶兵庫の経験と蓄積が国内外の課題解決に生かされ、世界との交流・連携が深化している

アジア、世界の中核拠点を担う交通・物流網

▶空港・港湾などのネットワークの拡大と利便性の向上が、世界との交流・連携の拡大を支えている

みんなで取り組む「協働シナリオ12」

アジア交流圏による世界に開かれた兵庫づくり

実現に向け、みんなで取り組みましょう。

- ▶国内外の特色ある人材が集まるアジアにおける人材育成の拠点づくり
- ▶兵庫ならではの経験と蓄積を生かした双方向型の貢献・交流の拡大
- ▶世界に開かれ、住民自身が多文化と共生する暮らしづくり
- ▶関西3空港、阪神港などの機能充実による国際競争力の強化　など

問県ビジョン課 ☎078(362)3056 F078(362)3950　兵庫長期ビジョン 検索

プレゼントクイズ

紙面（1～8面）のどこかで「はばタン」が何か言っています。何と言っているでしょう。

正解者の中から抽選で、①**のり3種類のセットを5人**②**横尾忠則現代美術館「ワード・イン・アート」招待券を10組20人**にプレゼント。クイズの答え、希望するプレゼント（番号と名前）、住所、氏名、電話番号、感想を記入し、3月29日㊎（消印有効）までにはがき〔〒650-8567（住所不要）〕、ファクス〔078(362)3903〕、Eメール〔dayori@koho.pref.hyogo.lg.jp〕で県広報課県民だより「プレゼントクイズ」係まで。※当選発表は発送をもって代えさせていただきます。また、感想は紙面下の「みんなの声」コーナーで紹介させていただく場合があります。ご提供いただく個人情報はプレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します（①は㈱鍵庄から直接発送します）

県民モニター募集中 県政に関するアンケートにお答えいただきます。パソコンでインターネットを使えることが必要です。問県広聴室☎078(362)3021 F078(362)4291 兵庫県 県民モニター 検索

みんなの声 フェニックス共済に入っているので安心です。〔三坂さん（福崎町）〕